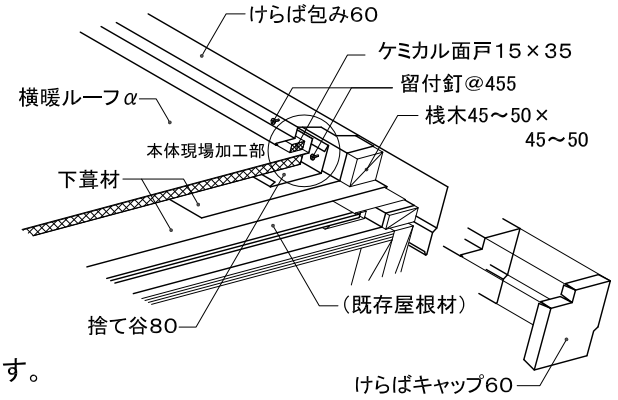
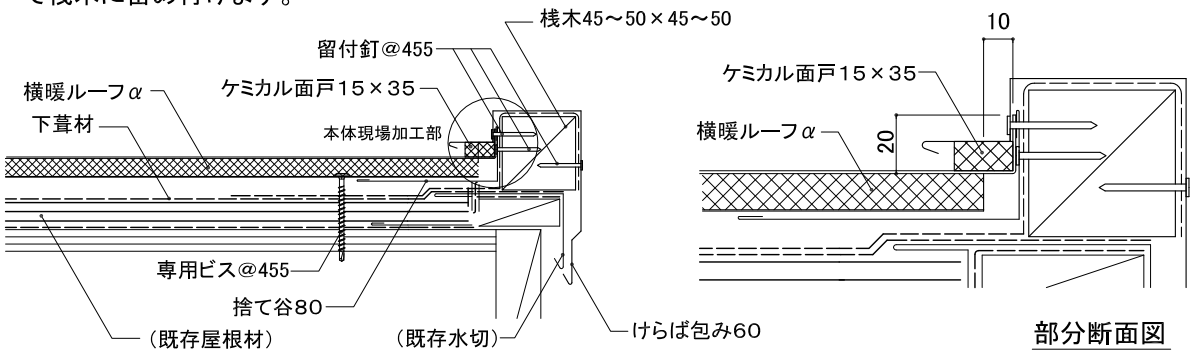
横暖ルーフα	工法	既存屋根材
	重ね葺き	セメント系新生瓦 アスファルトシングル

5）けらば部　　②けらば包み60

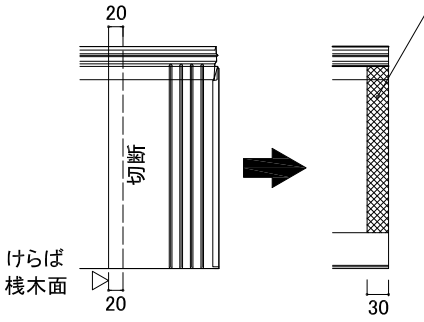
●下葺材は既存水切にかぶせて、既存屋根材の上に張ります。
●けらば部に桟木45～50㎜×45～50㎜を取り付け、桟木を包むように下葺材を増し張りします。
●捨て谷80は留付釘（ステンレススクリュー釘長さ32㎜以上）を用いて、455㎜以下の間隔で桟木に留め付けます。
●本体の図の位置にケミカル面戸15×35を貼り付け、けらば包み60をかぶせるように施工し、留付釘（ステンレススクリュー釘長さ32㎜以上）を用いて、455㎜以下の間隔で桟木に留め付けます。
●軒先端部の仕上げは、けらばキャップをリベットまたは留付釘（ステンレススクリュー釘長さ32㎜以上）で桟木に留め付けます。



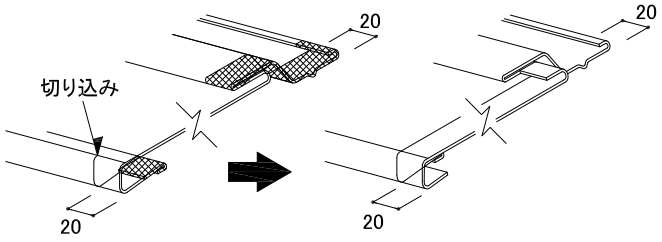


部分断面図

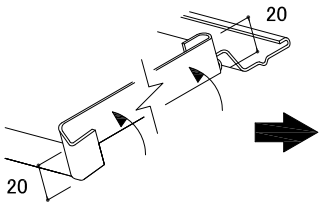
■施工ポイント・現場加工図
●横暖ルーフα本体のけらば部分は、図のように加工します。



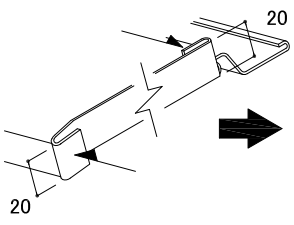
①けらば桟木面から図の寸法で切断します。



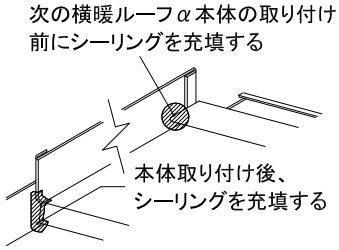
②網掛け部分を切り落とします。



③切り込みを入れた部分から垂直に起こします。



④Rの部分をつぶします。



⑤接合部から雨水の浸入を防ぐためシーリングを充填します。